



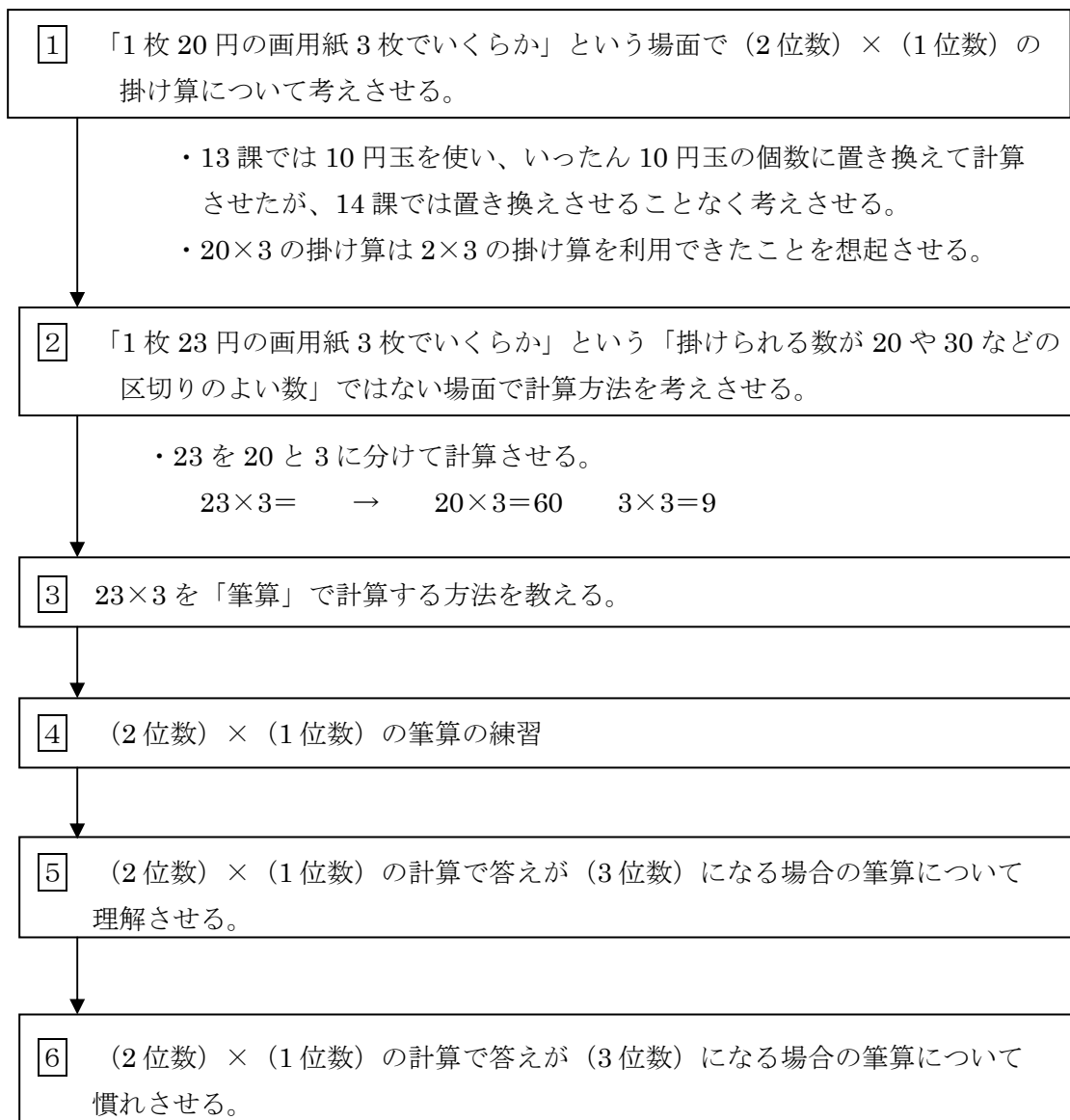
## 指導ポイント&ヒント

### 第14課 「23×3のかけざん」

- 【指導内容】 ① (2位数) × (1位数) の掛け算の筆算の方法を理解する。  
 ② (2位数) × (1位数) で答えが3位数になる場合の計算方法を理解する。  
 \*十の位で繰り上がりのある計算は15課に回した。

- 【日本語】 ① 算数でよく使われる語句「代金」。算数特有の言葉「筆算」。  
 \*理解が難しい課だと思われるので、新しい文型は使わなかった。  
 \*すべての課で行った配慮だが、この課でも「同じ場面」で説明を繰り返すことによって、「同じ言い方」を何度も目や耳に入れるようにした。

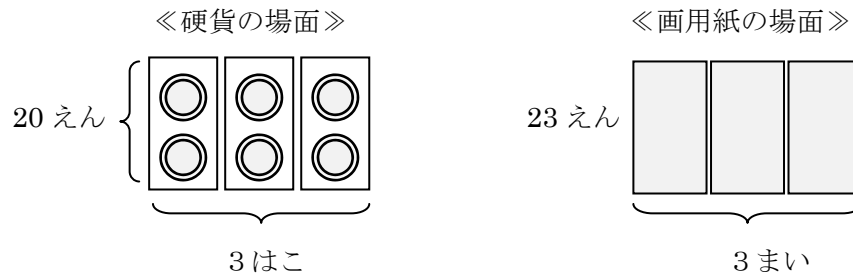
【概念図】



- 【配慮事項】 9課までで「掛け算の仕組み」が理解できたはずなので、10課からなるべく教科書に近い教え方にしました。しかし、教科書は既知のものとして省略してある物事があるため、この課では次のような点に配慮して教科書の書き換えをしました。
- ①今まで10円硬貨や100円硬貨で計算をさせてきたが、この課から「物の代金」という

場面で(2位数) × (1位数)の掛け算を扱い始めた。

②しかし、場面が変わることによる混乱を避けるため、図は硬貨の時と似せて描いた。



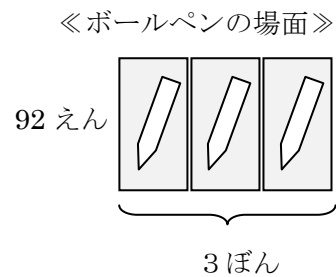
③画用紙の場を下図-1のように分けたが、この分け方で分からない子どもには下図-2のように硬貨を書き入るとよい。



《図-1》

《図-2》

④買う物が、画用紙からボールペンに変わった場面でも、今までのイメージで考えられるように図を似せて描いた。



【注】問題文で「～を～本買いました。代金はいくらになりますか。」と書いてあるのには指導者は違和感を感じないと思うが、問題文の下(ひっさんで やってみよう)のところでも、「代金はいくらになりますか。」と書いてあることには違和感を感じる方もおられることと思う。

筆算が完了したところで、つまり答えが出たところにもかかわらず「いくらになりますか。」と問うのは確かに不自然だが、問題文では「なりますか」を使い、筆算場面で「なりましたか」を使うと子どもが混乱するのではないかと心配する声もあり、「なりますか」で統一してみた。



14課  
ようごとぶん

Unidad 14  
Palabra y Frase

ようご	Palabra
がようし	papel de diseño / cartulina
かう	comprar
だいきん	precio
ひっさん	cuenta escrita / hacer la cuenta por escrito
どんな	qué tipo / cuál
かたち	forma
かきかえる	escribir de otra forma

ぶん	Frase
がようしを 3まい かいました。	Compré tres hojas de papel de diseño (se usa "mai" para contar hojas).
だいきんは いくらになりますか。	¿Cuánto cuesta? / ¿Cuál es el precio?
この ほうほうを 「ひっさん」と います。	Este modo de calcular se llama "hissan".
どんな かけざんになりますか。	¿Qué tipo de multiplicación es?
ひっさんの かたちを かきかえましょう。	Vamos a escribirlo de nuevo, en forma de "hissan".

# 14 23 × 3 の かけざん

1

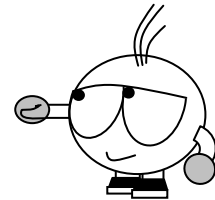
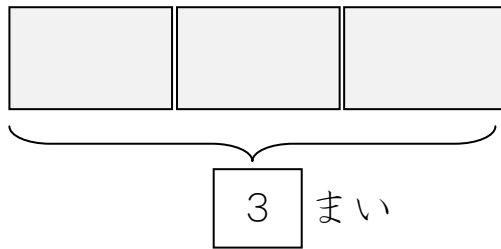
(2 位数) × (1 位数) への導入

## ぜんぶでいくら

1まい 20 えんのがようしを 3まい かいしました。

だいきんは いくらになりますか。

20  
えん

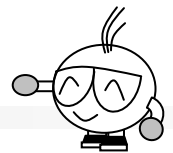


20 えんずつ 3まいで いくらになりますか。

これも かけざんが つかえます。

$$\begin{array}{ccc}
 \boxed{\phantom{20}} & \times & \boxed{\phantom{3}} & = & \boxed{\phantom{60}} \\
 \text{1まいの ねだん} & & \text{かった かず} & & \text{だいきん}
 \end{array}$$

## 20 × 3 の かけざんは



20 × 3 の かけざんは 2 × 3 の かけざんが つかえましたね。

$$\begin{array}{ccc}
 \boxed{2} & \times & \boxed{3} & = & \boxed{6}
 \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc}
 \boxed{20} & \times & \boxed{3} & = & \boxed{\phantom{60}} \\
 \text{1まいの ねだん} & & \text{かった かず} & & \text{だいきん}
 \end{array}$$

2

### ぜんぶでいくら

1まい 23 えんのがようしを 3まい かいしました。

だいきんは いくらに なりますか。

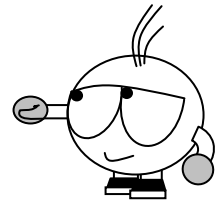
23

えん



3

まい



### わけて あわせて

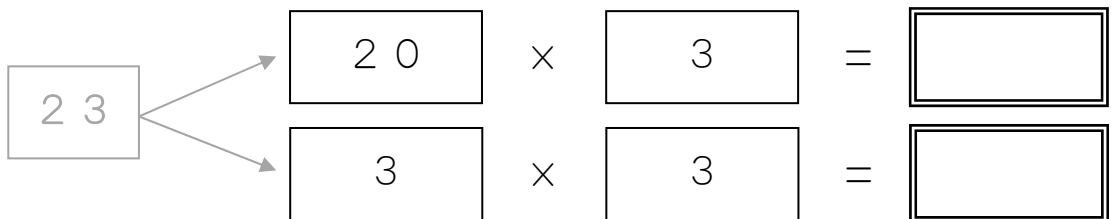
★23 えんを 20 えんと 3 えんに わけて かんがえましょう。

20 えん

3 えん



3 まい



[ ] の かずを たすと、23 × 3 の こたえに なります。

たして こたえを もとめましょう。

$$[ ] + [ ] = [ ]$$

3

### 23×3の ひっさん

23×3は、つぎのようにけいさんすることができます。

1

23×3を たてに かきます。

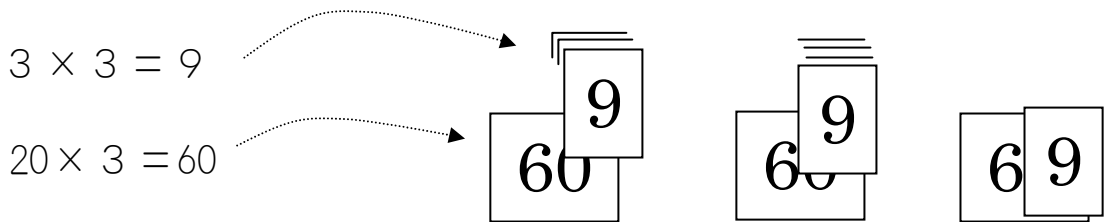
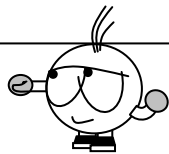
2

3×3のこたえ 9 を かきます。

3

3×2のこたえ 6 を かきます。

この ほうほうを 「ひっさん」といいます。

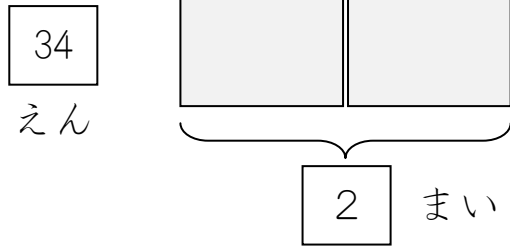


4

### ぜんぶでいくら

1まい 34えんのがようしを 2まい かいしました。

だいきんは いくらになりますか。



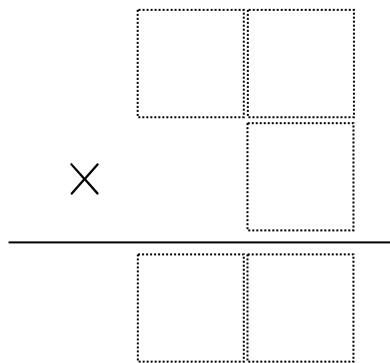
### ひっさんで やってみましょう。

① どんな かけざんになりますか。

$$\boxed{\phantom{00}} \times \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}$$

1まいの ねだん                      かった かず                      だいきん

② ひっさんの かたちにかきかえましょう。



③ 2 × 4 の こたえをかきましょう。

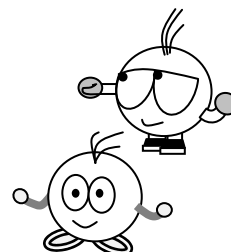
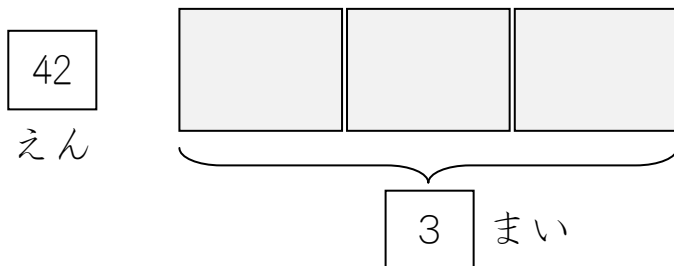
④ 2 × 3 の こたえをかきましょう。

⑤ だいきんは いくらになりますか。

5

### ぜんぶでいくら

1まい 42えんのがようしを 3まい かいしました。  
だいきんは いくらに なりますか。

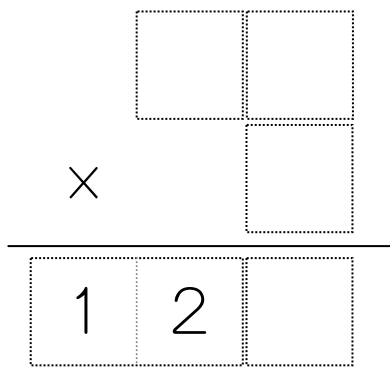


### ひっさんで やってみましょう。

① どんな かけざんになりますか。

$$\begin{array}{ccc}
 \boxed{\phantom{00}} & \times & \boxed{\phantom{00}} & = & \boxed{\phantom{000}} \\
 \text{1まいの ねだん} & & \text{かった かず} & & \text{だいきん}
 \end{array}$$

② ひっさんの かたちにかきかえましょう。



③ 3 × 3 の こたえをかきましょう。

④ 3 × 4 の こたえをかきました。

⑤ だいきんは いくらになりますか。



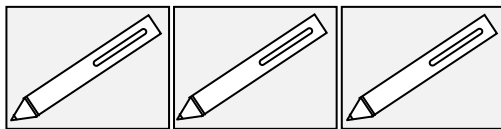
6

### ぜんぶでいくら

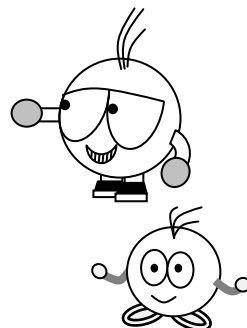
1 ぽん 92 えんの ボールペンを 3 ぽん かいしました。  
だいきんは いくらに なりますか。

92

えん



3 ぽん

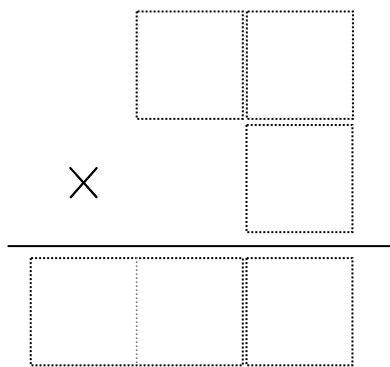


### ひっさんで やってみましょう。

① どんな かけざんになりますか。

$$\begin{array}{ccc}
 \boxed{\phantom{00}} & \times & \boxed{\phantom{00}} & = & \boxed{\phantom{000}} \\
 \text{1 ぽんの ねだん} & & \text{かった かず} & & \text{だいきん}
 \end{array}$$

② ひっさんの かたちにかきかえましょう。



③ 3 × 2 の こたえをかきましょう。

④ 3 × 9 の こたえをかきましょう。

⑤ だいきんは いくらになりますか。